

# 第21回 日本免震構造協会賞 - 2020 -

第21回日本免震構造協会賞は、右の5件に決定した。

## 表彰制度の目的

免震構造等の技術の進歩及び適正な普及発展に貢献した個人、法人及び団体に対して表彰することにより、免震構造等の技術の確実な発展と安全で良質な建築物等の整備に貢献していくことが本協会の表彰制度の目的である。

## 表彰の対象

功労賞は、多年にわたり免震構造等の適正な普及発展に功績が顕著な個人に、技術賞は、免震建築物等の設計・施工及びこれらに係る装置等に関する技術としての優れた成果を上げた個人、法人及び団体に、作品賞は、免震構造等の特質を反映した格別に優れた建築物等の実現に主たる貢献を行った個人、法人及び団体に、業績賞は、免震構造等の特質を反映した、建築物等の優れた設計、改修、保全、維持、復元、困難なプロジェクトの実現等において際立った業績をあげた個人、法人及び団体に、普及賞は、免震建築物・免震啓発活動・免震に係わる装置等により免震構造等の普及に貢献した個人、法人及び団体に贈る。

## 表 彰

2020年7月8日

一般社団法人日本免震構造協会通常総会後

## 一般社団法人日本免震構造協会表彰委員会委員

彦根 茂(委員長) 井田卓造 江副敏史  
下吹越武人 竹内 徹 畠中克弘 東野雅彦  
三田 彰

## 審査経過

本年度の応募は、技術賞3件、作品賞15件、業績賞3件および普及賞1件であった。審査前に、作品賞1件、業績賞1件が取り下げられた。第一回表彰委員会で応募内容について議論した結果、作品賞応募のうち1件を業績賞に相応しいと判断し応募者にエントリー変更の打診を行い了承された。よって、審査された件数は、技術賞3件、作品賞13件、業績賞3件および普及賞1件となった。

技術賞では応募3件のヒアリングを行い委員会での協議により、「巨大地震に対するフェールセーフ機構を有するアイソレータ『QTB』の開発」を選出した。LRBと高摩擦すべり機構を直列配置することにより、設計レベル以下の地震時にはLRB、巨大地震時にはフェールセーフ機構としてLRBを守るため、すべり支承が機能するものであり、開発後、応募者所属の社員寮に実用化された。今後の実績数増による最適化とコストダウンが期待される。

作品賞の応募は、建築用途別に、公共2件、企業8件、医療2件、個人住宅1件。基礎免震構造を採用したものが8件、中間層(1階柱頭を含む)免震構造を採用したものが2件、中間層と基礎免震構造を併用したものが2件、TMDならびに制振構造を採用したものが1件あった。いずれの作品も構造計画に工夫が見

## 選考結果

第21回日本免震構造協会賞受賞は下記の5件である。

### I 技術賞

- 1) 巨大地震に対するフェールセーフ機構を有する  
アイソレータ「QTB」の開発  
株式会社竹中工務店 濱口弘樹 山本俊司  
オイレス工業株式会社 和氣知貴  
北海道大学 石井 建 菊地 優

### II 作品賞

- 1) 大塚製菓徳島美馬工場  
大塚製菓株式会社 仲井正広  
株式会社竹中工務店 佐々木淳一 吉本一規  
櫻川典男 申田淳哉
- 2) ー長崎県庁舎ー  
免震構造採用による安全で県民に開かれた  
低層シティーホールの実現  
長崎県 中村法道  
株式会社日建設 長瀬 悟 林 博之  
染谷朝幸  
鹿島建設株式会社 大須賀太一
- 3) JR 東日本 ホテルメッツ札幌  
株式会社 YRE マネジメント 高宮敏郎  
大成建設株式会社 藤山淳司 中藤泰昭  
島津幸二 山本佳城

### III 普及賞

- 1) 免震用積層ゴム支承に関する国際標準化  
(国際規格整備)  
一般社団法人日本ゴム工業会 青木正己  
東京大学・東京工業大学 西 敏夫  
株式会社ブリヂストン 鈴木重信  
オイレス工業株式会社 澤田 毅  
昭和電線ケーブルシステム株式会社 福田滋夫

(敬称略)

られ、建築として意匠、構造、設備、環境配慮等の統合的建築として優れた作品が多く見られた。書類審査による1次審査を行い通過した9作品について、2次審査の現地審査を行った。現地審査を経て、第2回表彰委員会で厳正に審査した。それぞれの作品の関係者をのぞく審査委員が審査を行い、評価得点数が過半を獲得した作品3件を選出した。中でも、壁構造と中空スラブによる極めて高い剛性と耐力を有する構造と基礎免震を採用した開放性の高いデザインの寒冷地における作品は、都市景観に寄与する上で高評価を得た。また、BCPIに配慮した製菓工場は製造ラインの独立性を持たせ、柱頭免震と基礎免震構造を採用し傾斜地における複合免震構造とした作品も高評価であった。低層化と基礎免震構造の採用によって県民に開かれた公共施設を実現した作品は、立地上、地震後に起こりうる津波等の対策も講じてあり高評価を得た。

業績賞は、ヒアリングもしくは現地調査を行い、厳正に審査した結果、残念ながら該当する作品はなかった。

普及賞として選定した「免震用積層ゴム支承に関する国際標準化(国際企画整備)」は、日本の免震技術を国際的に広める上でも高く評価された。  
(彦根 茂)